テーマ名：相撲への興味や関心を高める。

園名：ひらがなのツリーほいくえん

背景

自園がある墨田区はバスに力士が乗っていたり、身近に相撲部屋があったりと、相撲に関する事が溢れているが保育の活動の中で深堀する機会がほとんどなかった。子どもたちも相撲や力士の存在については見たり、知ってはいるが興味をそこまでそそるものではなかった。その為、今回は相撲がどんな競技なのか？力士はどのくらい強いのか？等子どもたちの「知りたい！」を深堀していくことにした。

2024年度実施内容のまとめ

実施

散歩で相撲部屋の前を通ったり、看板や自動販売機に力士のイラスト見つけて興味を示していた。公園内の土俵で行司役や自分の力士名を決めて相撲ごっこを楽しんでいた。

実施

大相撲一月場所の観戦では、お気に入りの力士を見つけて応援したり、相撲の迫力に終始大興奮だった。出待ち付近にいたイケメンのお相撲さんに目を奪われる子どももいた。

実施

3園合同相撲大会では負けて悔しがったり「もっと勝負したい！」と盛り上がる姿があった。相撲交流会では本物の力士の大きさに驚きながらもインタビューや稽古をして楽しんだ。

子どもたちの興味

① お相撲さんと会ってみたい！

③ 大相撲一月場所の観戦をしに出掛けたらイケメンのお相撲さんがいた！

⑤ 3園合同相撲大会や立浪部屋の力士の交流で相撲の面白さに気付いた！

環境づくり

② 両国駅に出掛ける。

④ 力士の顔写真を並べてイケメン番付をした。

⑥ 交流会のセッティングをしたり、相撲セット一式（相撲マット、軍配）を作って自園でも相撲大会をした。

2024年度振返り

ゴール：こんなところに行きついた。
①相撲が身近にあるという立地を生かし、相撲部屋や相撲のイラスト等、相撲に関係する物を見つけながら散歩に出掛けることで子どもたちも発見を楽しんでいた。
②相撲マットを用意したり、室内に相撲コーナーを設ける事で子どもたちの興味を育てていった。
③自分たちだけでなく年下児にも教えたいという気持ちが芽生えた。
④戸外遊びでの準備体操に四股踏みや相撲体操を取り入れ丈夫な体作りに繋げていきたい。

次年度に向けて

①絵本や図鑑等、日常的に相撲に触れられる題材を子ども達の手の届くところに置いておく。
②子ども達がやりたいと思った事を主体的に深堀出来るような声掛けの工夫をする。
③おすもうマップを作ったら面白そう。

テーマ名：相撲への興味や関心を高める。

園名：ひらがなのツリーほいくえん

子どもたちの興味

①お相撲さんと会ってみたい！
→隅田公園に散歩に出掛けた際に鳴戸部屋の前を通り、子どもたちから「おすもうさんいるかな？」と声が上がった為、力士が居そうな場所に出掛けてみようと子どもたちと計画を立てた。その結果、一人の子どもからの「おとうさんがおすもうさんが両国にいるって言ってた！」という言葉をきっかけに両国に出かけた。

②大相撲一月場所の観戦に出掛けたらイケメンのお相撲さんがいた！
→大相撲一月場所の観戦に出掛けた際に、会場横の出待ち付近にいた短い髪の毛の力士を「かっこいい！」「いけめんのおすもうさんがいる！」とアイドルのように盛り上がっていた為、力士の顔写真を並べてイケメン番付をした。

③立浪部屋の力士の交流で相撲の面白さに気付いた！
→3園合同の相撲交流会で同世代の月組と戦ったり、実際に力士との触れ合いを通して「もっと戦いたい！」という気持ちが芽生えた。交流会後も園で相撲大会をしたり、年下児に相撲体操を教えたりと、相撲の楽しさに気付き、継続して楽しむ姿があった。
（今までに発見したお相撲さんは計72名、実際に会話したお相撲さん8名、
写真を撮ってくれたお相撲さん3名）
結論：お相撲さんは見た目は大きくて怖いけど、強くて優しい！

環境づくり

①両国町巡りをした。

②力士の顔写真を並べてイケメン番付をした。
（花組と星組も興味津々で参加していました！）
一番人気は【ときわやま部屋のたかのしょう　のぶあき】力士でした！

③3園合同相撲大会や相撲交流会のセッティングをしたり、相撲セット一式（相撲マット、軍配）を作って自園でも相撲大会をした。

担当者の気づきポイント

子ども達が主体となってプロジェクトを進めていくと、保育士が予想もしていなかった発言やアイデアが沢山飛び交い、子ども側の視点が面白いと感じた。それと同時に子ども達の思いを汲み取ったり、「やってみたい！」「しりたい！」を実現する事の難しさと園全体での協力の大切さを感じた。